



家族を描く

『ついでに父になる』『海街diary』『海もろもろまじろ深く』

映画監督

是枝裕和さんにインタビュー

- ◆ 平成27年度中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業を認定しました
- ◆ 第15回中央区ブーケ祭りを開催します

家族を描く

映画監督 是枝裕和さんにインタビュー

女性の社会進出、共働き世帯の増加、男性の育児・介護への参加など、社会の変化に伴い、女性・男性の家族へのかかわり方も変化してきています。

特集号では家族をテーマにした作品を多く手掛けられている是枝裕和監督に、家族を描くことなどについてお伺いしました。

自分の足元を掘り下げて描く

—家族を描いた作品を多く出されています

意識的にというわけではないですが、近作で家族をモチーフにしているものが増えているのは、この数年で自分自身、母親が死んで息子ではなくなり、子どもができて父親になったという、実人生の変化が大きく、家族を巡って考える割合が増えたからだと思えます。

『歩いてても歩いても』（2008年）は、母が亡くなり、「何もしてやれなかった」という後悔から出発しています。

『そして父になる』（2013年）

は、子どもができたけれど父親になつた実感があまりなく、妻が母親になつていく感じとは違うぞという焦りのようなものがありました。いずれも自分の足元を掘り下げたところから始まっています。

『海街diary』（2015年）は原作があります。四姉妹の話です。『家族』の物語ではありませんが、いわゆる「ホームドラマ」ではなく、もっと「街」や「時間」を広く捉えようとしたつもりです。

—「そして父になる」は、育てていた息子が他人の子どもだったことをめぐる家族を描いています

家族のつながりは、「血か時間

の積み重ねか」という単純なもの

ではありませんが、僕自身子どもと一緒にいる時間を多くもてるわけではないですし、「時間が大事だよね」と言われると、元も子もなくなってしまう父親がたくさんいる気がします。ただ、血のつながりだけに頼っていても父親にはないということは思っていました。では血なんかどうでもいいか、というところはなことはないというの、多くのお父さんにとっては現実的な感じ方だと思えます。

—父親になることと母親になることは違いますか

一般論にしてしまうと母性っていうのは生まれつきあるものという

考え方にたどりついてしまうのですが、それはそれで女性に対してはすごくプレッシャーだと思うんですよね。産んではみたものの、母親になったという実感のない女性ってたくさんいると思うんですよ。

父親も子どもと一緒にいる時間が大事だということでもイクメンになってくる。けれど、それが父親の子どもへの向き合い方の理想的なケースかというところ、個人的にはそうは思わないし、もしそうだと自分にはできないので、自分にできる子どもとの接し方とは何だろうということは考えます。

一般化して考えて映画を作っているわけではないので、作品の中で個別に具体的にどう落とし込んでいくかということだけをやっていくつもりです。

家族は「やっかいだけど、かけがえがない」存在

—家族をどう捉えていますか

家族はこうあるべきだというのはありませんが、家族の姿を撮るときにいつも心がけているのは「やっかい」だけど「かけがえがない」という2つを描こうという



是枝 裕和 (これえだ ひろかず)

映画監督、テレビディレクター。1962年、東京都生まれ。87年に早稲田大学第一文学部文芸学科卒業後、テレビマンユニオンに参加。主にドキュメンタリー番組を演出。14年に独立し、制作者集団「分福」を立ち上げる。

95年、初監督映画『幻の光』がヴェネツィア国際映画祭で金のオゼッラ賞受賞。04年、『誰も知らない』がカンヌ国際映画祭にて史上最年少の最優秀男優賞(柳楽優弥)、13年、『そして父になる』がカンヌ国際映画祭審査員賞受賞。15年、『海街 diary』が日本アカデミー賞で最優秀作品賞、最優秀監督賞などを受賞。最新作『海よりもまだ深く』が16年5月21日より公開。

ことです。息子の立場だけでなく、母親の立場からでもです。自分の生活を通して感じたことですね。

例えば母親が息子を愛す愛し方っていうのも、『歩いても歩いても』で描いた母親は多分うっとうしいと思いますよ。重荷になりますよね。重荷になるけれど、でもいなくなると寂しいということなんだと思います。

家族の向き合い方が変わった

— 家族の形やつながりは変わっていると感じますか

世代でいうと三世代が一緒に住める家がなくなりましたよね。住環境が変わった、そうした外的な要因もあると思います。自分の周りを見渡してもだいたい変わっているのではないのでしょうか。

つながりは、どうでしょうかね。子どもができて子どもと一緒にいる時間を作ろうと思っっていますけど、自分が子どもだったときに親と一緒にいたいと思っただかというところはないし、親も働くので精一杯だった。むしろ今のほうが父親も含めて親は子どもと向き合おうとしますよね。昔はまっ

たくそんなことはなかったから、昔と今とでどちらがつながりが希薄なのか正直何とも言えないですね。つながりが薄くなったわけではなく、向き合い方が変わったのではないですかね。

新作

『海よりもまだ深く』

— 新作では、仕事も家庭も上手くいっていない主人公が描かれています

『歩いても歩いても』を作ったときは阿部寛さんと僕は40代でまだ子どもがいなかったのですが、この8年の間に二人とも50代になって父親になって、その阿部さんを主人公にホームドラマをやりたいなというのがありました。『歩いても歩いても』からの変化かというところに父親の視線を加えてみたかった。

それと、50歳ってどういうことなんだらうなというのがあります。50代を見たときに、良くも悪くもそろそろゴールが見え始めてくる年齢で、着地に入ってしまった感じというんでしょうか。脚本の最初の一行に「みんながなりたかった大人になれるわけじゃない」と書いたのですが、その辺が

『歩いて歩いても』(2008年)

監督・原作・脚本・編集：是枝裕和

15年前に亡くなった長男の命日に、次男の良多は妻と息子を連れて久しぶりに実家を訪れる。明るい姉の一家も来て、老いた両親の家には久しぶりに笑い声が響く。得意料理をつぎつぎにこしらえる母と、相変わらず家長としての威厳にこだわる父親。ある夏の日の家族を描く。

『そして父になる』(2013年)

監督・脚本・編集：是枝裕和

6年間育てた息子は、病院で取り違えられた他人の子だった。家族に起きた「事件」を通して、主人公良多はそもそも自分は「父親」であれたのかを問い始めることとなる。血の通わぬわが子に変わらない愛情を注ぎ続ける妻と、一見粗野だが温かい相手方の家族との交流を通じ、自分自身と向き合う男の葛藤を描く。

『海街diary』(2015年)

監督・脚本・編集：是枝裕和

鎌倉で暮らす三姉妹の元に、15年前家を出ていった父の訃報が届いた。長い間会ってこなかった父の葬儀で異母妹と初めて会う。身寄りのなくなった彼女に、長女は鎌倉で一一緒に暮らすことを提案する。鎌倉での四姉妹の生活を描いた物語。吉田秋生のベストセラー「ミツク」『海街diary』の映画化。

『海よりもまだ深く』(2016年)

原案・監督・脚本・編集：是枝裕和

主人公の良多は仕事も家庭もうまくいっていない。ある台風の夜に団地で暮らす母のもとに、良多と元妻、息子が集まり、一夜限りの元家族の時間が始まる。どうしようもない現実を抱えながら、夢をあきらめることもできず、だからこそ幸せを手にはできない主人公を描く。



『海よりもまだ深く』 原案・監督・脚本・編集：是枝裕和
©2016 フジテレビジョン パンダイビジュアル AOI Pro. ギャガ

どういいうジレンマとして一人の人間の中にあるのか。40代はまだ人生をやり直せる気がするけれど、50代ってギリギリなのかなという、そんな感慨があった50代の家族の話をやってみたいなと思いました。自分スタートですね。

母の愛に対しても『歩いてても歩いても』より寛容なのは、多分自分が父親になり、妻が母親になったのを間近に見ているから起きた変化なんだと思います。自分の今を一番色濃く反映できた作品です。

——監督ご自身が暮らしていた団地で撮影をされています

団地を撮りたいなと思ったきっかけは、15年くらい前ですが、父親が死んで母親が一人暮らしを始めて、そこに久しぶりに帰ったとき、僕が住んでいたときに比べると公園から子どもが消えていたり階段に手すりが付いていたりという変化があって、団地の様相が変わっていくなと思ったんですね。それで撮りたいな思ったのがスタートです。

団地を描くときに最初に浮かんだのは、団地の原風景で、子どもどとき台風の翌朝晴れていて、ランドセルを背負って階段を下りていくと、目の前の芝生がすごくきれいだったというのがあって、それまで無機質に見えていた団地が一瞬にして輝いて目の前にある。その台風が過ぎ去った後の気持ちのよさ、何も変わっていないのに、一晩たつて何かが大きく変わって見える、そういう読後感がいいなどというのはありました。

日常生活を描く

——いずれの作品も日常生活が丁寧に描かれています

ホームドラマって日常的なもの

だけで作るものだと思っていきます。食べたり、風呂に入ったり、寝たりというディテールが充実していないものはホームドラマとしてはほとんど観念的になってしまっています。実際には、自分の記憶の中にあるものと目の前にあるものの観察、さらに想像力という3つで作るといって感じですけど、ディテールに関していうと、記憶の部分が多いのではないですかね。脚本を書いていくときは最初に自分の記憶を探っていきます。

今回の作品では、自分の記憶の中にある団地の表情をちゃんと残したいというのがありました。人それぞれの類する場所の記憶があるはずだと思い、フィクションではあるものの自分の記憶のディテールにこだわりました。

映画の現場に女性が多くなった

——映画を作る際に男女で視点の違いなどありますか

性差はないわけではないだろうけど、女性だからいわゆる女性的な映画を撮るわけではないでしょうし、作品の質と性差はイコール

ではつながらないですね。男性が描くと女性の描写は甘くなり、女性が描くと女性に厳しくなる傾向があるかもしれないが、それは作家が意識してコントロールしていくものだと思います。視点の違いも性差ではなく人によります。

——映画制作者に女性は増えましたか

ずっと男性社会だった映画の現場に女性が進出している印象はあります。僕の周りのスタッフも6割くらい女性です。現場も増えていきますね、撮影部や照明部にも女性が入ってきています。美術部は女性のほうが多いのではないですかね。男性中心で古かった体質がようやくここにきて壊れてきていると思います。

——次の作品の構想はありますか

少しホームドラマが続いたので、社会的な題材を扱ったようなハードなものをやってみようかなと思っています。いまちょうど脚本作りに入るところです。

——楽しみにしています。本日はありがとうございました

報告
「中央区女性ネットワーク」の総会が
5月14日(土)に開催されました

「中央区女性ネットワーク」は男女共同参画社会の実現に向け、区内女性団体の交流連帯を深めることを目的に設立され、中央区との共催で講演会の実施や研修会などを行っています。

総会では、活動実績報告および今年度の事業計画が承認されました。女性ネットワークでは、参加団体(個人参加も可)を募集しています。ご希望の方は「ブーケ21」へお問い合わせください。

お知らせ
6月23日～29日は
「男女共同参画週間」です。
今年のキャッチフレーズは
「意識をカイクク。男女でサ
ンカク。社会をヘンカク。」

国では、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

「ブーケ21」では、この週間にあわせ、内閣府制作の「男女共同参画週間ポスター展」を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

申込方法

電話またはファクスで受け付けます。(電子申請も可)

- ①講座名など
- ②氏名・ふりがな
- ③〒・住所
- ④電話番号
- ⑤年齢

●電子申請の場合は、区のホームページからお申込みください。

申込・連絡先

女性センター「ブーケ21」
TEL 5543-0651
FAX 5543-0652
http://www.city.chuo.lg.jp/

募集
「ブーケ21」事業協力スタッフ
養成講座受講生募集

託児つき

「ブーケ21」の事業に協力していただくスタッフの養成講座を開催します。講座では、男女共同参画に関する基礎的な知識や、その推進に向けた講座・講演会の企画運営方法などを学びます。

●日時 28年7月から29年3月頃まで
全8回。いずれも午後6時30分～8時30分
●会場 女性センター「ブーケ21」
●対象 区内在住・在勤・在学者(原則として全ての回を受講できる方)

●定員・費用 20名(先着順)・無料
●申込締切 6月30日(木)(必着)
※申込方法等、詳細は上記の申込・連絡先へお問い合わせください。

講座スケジュール

回数	日程	テーマ
第1回	7月13日(水)	オリエンテーション ～「ブーケ21」って何するところ?～
第2回	7月27日(水)	男女共同参画講座・講演会の基礎知識
第3回	9月14日(水)	講座・講演会プランの基礎力アップ
第4回	10月12日(水)	広報・チラシ作りのワンポイント①
第5回	11月9日(水)	広報・チラシ作りのワンポイント②
第6回	1月18日(水)	どうやるの!? 講座・講演会運営メソッド
第7回	2月頃	講座・講演会の実施
第8回	3月頃	反省会・修了証の授与

募集
講演と映画のつどい
「家族」ってなんだろう?
〜今〜に見るそれぞれの姿〜

託児つき

●日時 7月9日(土)午後1時～4時30分(午後0時30分開場)

●会場 日本橋社会教育会館ホール
●講演 山田昌弘さん(中央大学文学部教授)
●映画 「ぼくたちの家族」
●対象 区内在住・在勤・在学者
●定員・費用 200名(先着順)・無料
●主催 中央区女性ネットワーク・中央区



『ぼくたちの家族』
監督 石井裕也、主演 妻夫木聡
©2013 『ぼくたちの家族』製作委員会

募集
水曜イブニングトーク
平成28年度のテーマ
「京橋・築地界隈で働く女性たち」

7月、8月、9月、10月の第1水曜日、午後6時30分から開催している「水曜イブニングトーク」。中央区のまちの中で、生き生きと働き、生活している方々のお話を伺い、新たな発見と元気をもらいましょう。

●第1回 「築地で働く元気な5代目」
〜すべりにくい長靴を守る〜

●日時 7月6日(水)
午後6時30分～8時

●会場 女性センター「ブーケ21」

●ゲスト 伊藤嘉奈子さん(長靴専門店「伊藤ウロコ」専務取締役、5代目跡取り)

●費用 無料
※「講演と映画のつどい」「水曜イブニングトーク」ともに申込方法等、詳細は上記の申込・連絡先へお問い合わせください。

館長雑記

熊本地震と女性の視点

▶東日本大震災の日から5年が経過し、被災地それぞれに少しずつ復興の兆しが見えてきました。私が所属している小さな団体がささやかな支援と交流を続けてきた海辺のまちにも、復興住宅や再建された住宅が立ち並び、「町並み」らしい姿が見られるようになってきました。▶つい「被災地支援活動もひと区切りついたかな」という気持ちになっていたのですが、この甘い気分にいっぺんに水を浴びせたのは、4月14日以来続く熊本の地震でした。東北とまた違った被災地の惨状には、目を覆うばかりです。▶避難所さえ不足している事態ようですが、この中で、私たちがこれまでの経験から学んできた「女性の視点」は生かされているのでしょうか。▶「日頃からできていないことは非常事態にはできるものではない」ことは、貴重な教訓の一つです。地震活動が未だ続く中、日常を取り戻すまでの気の遠くなるような道のりを歩むことになる被災地に、少しでも応援の気持ちを届けたい、と方法を思いめぐらすこのごろです。(松川淳子)





認定式の様子▶



認定企業の皆さん▶



◀認定式後に懇談会を開催

時間管理を徹底

ソフトウェアの開発を手掛ける
 会社では、社員の9割がシステム
 エンジニアであり、そのほとんど
 が顧客先で仕事をしています。

システムエンジニアにはテクニ
 カルスキルだけでなく、ヒューマ
 ンスキルも求められており、自己
 研さんには時間的余裕が必要であ
 るとの考えにより、月の残業時間
 25時間以内を目指す「UNDER
 25」や早出早帰りを推奨していま
 す。残業時間は社内イントラで把
 握し時間管理を徹底しています。

また、自己啓発を促す目的で、仕
 事と私生活、健康管理、ファイナ
 ンシャルプランなどの内容のライ
 フプラン研修を実施しています。
 現在2名の社員が育児休業を取
 得していますが、代替要員につい
 てはグループ内で仕事の割り振り
 を変えて、柔軟に対応するフォ
 ロー体制ができています。

エヌアイシー・ソフト 株式会社

中央区新川 1-26-9
 新川イワデビル 3階

情報通信業

従業員数 133名
 (男性 107名：女性 26名)



社員の自己研
 さんを支援

自己啓発を支援

化粧品・トイレタリー・医薬品・
 食品・一般工業用原料などの販売
 を行っています。

アフター5をきちんと確保して
 自己啓発の時間に充て仕事に
 フィードバックして欲しい、とい
 う社長の考えがあり、「残業をし
 ないよう、タイムマネジメントを
 する」というのが会社の方針と
 なっています。

この考え方や方針が社員にも浸
 透しており、管理職自身も必要
 な残業はしない、また部下にもさ
 せないよう徹底しています。

有給休暇取得率は63%と高く、
 そのほかに5日間付与される夏季
 休暇の取得率は100%となっ
 ています。

社員には「育児休業の取得から
 復帰は当たり前のこと」という意
 識があり、複数回育児休業を取得
 した社員もいます。

日光ケミカルズ 株式会社

中央区日本橋馬喰町
 1-4-8

製造業

従業員数 105名
 (男性 63名：女性 42名)



アフター5を確
 保し自己啓発に
 活用

募 集

平成28年度のワーク・ライフ・
 バランス推進企業、並びに
 ワーク・ライフ・バランスア
 ドバイザー派遣を希望する企
 業を募集します

区では、今年度も引き続き、ワー
 ク・ライフ・バランスの取り組み
 を推進している企業を募集し認定
 を行います。また、これからワー
 ク・ライフ・バランスに取り組も
 うとする企業や、さらに充実を図
 るうとする企業にアドバイザーを
 派遣し、取り組みを支援します。

●対象事業所 区内に事業所を置
 き、常時雇用する従業員の数が
 300人以下の企業、一般社団
 法人、一般財団法人等

●アドバイザー派遣の支援内容
 長時間労働削減や有給休暇取得
 促進のアドバイス他

●費用 無料
 ※応募方法等は、5頁左上の申込
 連絡先にお問い合わせくださ
 い。



平成27年度 中央区ワーク・ライフ・バランス 推進企業を認定しました

区では仕事と家庭の両立支援や男女ともに働きやすい職場づくりなど、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいる企業等を認定する「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定」の制度を設けています。平成27年度は4社を認定し、4月11日(月)に認定式を行いました。

明和証券株式会社

中央区八丁堀 2-21-6

金融業・保険業

従業員数 116名
(男性 99名：女性 17名)



時間効率を考えた業務実施

働き方を見直し、業務を効率化

今年で創業94年となる老舗の証券会社である同社では、社長の方針により、働き方の改革を行いました。

営業スタイルを見直すとともに労使で休暇取得促進の取り組みを進め、管理者については、自身の時間管理のほか、部下の休暇取得状況や労働時間管理を人事評定項目として設定しています。併せて周りがフォローできる体制を整備することで、休暇が取り易い環境を整え、短時間勤務の社員も多方の業務を気にせず保育園のお迎えができるようになりました。

仕事と家庭の両立支援に向けては、2日間の配偶者出産休暇制度や育児・介護休業制度が設けられています。配偶者出産休暇の取得率は100%となっており、育児休業については、7カ月間取得した男性社員もいます。

レボ株式会社

中央区日本橋久松町 11-6
日本橋 TS ビル

情報通信業

従業員数 5名
(男性 3名：女性 2名)



全社員を巻き込んで推進

業務の見直しを仕組化

ソフトウェアの設計・開発・保守を行う同社では、顧客先に常駐して仕事をしています。

社長自らワーク・ライフ・バランスコンサルタントの資格を取得し、全社員を巻き込みながらワーク・ライフ・バランスを経営戦略として推進しています。

総労働時間削減のための目標値を設定して、朝メール夜メールで計画通り進捗できたかを見直しています。

人事評価に「定時内で仕事を完了させる」「メンバーを補助する」「適度に休む」などの項目を入れており、業務の効率化を図り、有給休暇取得の促進に取り組んでいます。月1回、全社員が会社に出向く日には、業務知識の勉強会を行ったり、ワーク・ライフ・バランスの取り組み状況について話し合ったりしています。

平成27年度の認定更新企業

これまで認定された各社も、引き続きワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。

■株式会社トーコン・ホールディングス（21年度認定）

情報通信業、日本橋蛸殻町

コアタイムなしのフレックスタイムを導入。育児短時間勤務の対象を小学校就学までから無期限延長に設定。

■株式会社タンクソフト（21年度認定）

情報通信業、日本橋室町

サテライトオフィス、在宅勤務、ペーパーレス化、クリンデスクなど場所や時間の制約をなくした働き方を推進。

■エヴィクサー株式会社（21年度認定）

情報通信業、新川

半日単位でも有給休暇が取得できるように改定。ペーパーレス化を推進し業務を効率化。

■株式会社サンプラント（25年度認定）

建設業、東日本橋

短時間勤務の対象を3歳までから小学校就学時まで拡大。区のアドバイザー派遣を利用し就業規定を改定。

■ナスエンジニアリング株式会社（25年度認定）

建設業、京橋

工事完了後に特別休暇を付与。社員意識調査の結果を公表し改善に向けた取り組みを推進。



第15回 中央区ブーケ祭り

～職場で、地域で、家庭で働く女性たちへの応援歌～

テーマ
みんなで一緒に
わ～くわ～くブーケ

■日時：6月24日(金) 10時～17時
6月25日(土) 10時～16時
■場所：女性センター「ブーケ21」

実行委員会企画



真打ち 落語家 **春風亭鹿のゑ**



鹿の子流
笑顔でワーク・ライフ・バランス
～仕事も育児も人生も～



6月25日(土) 11時～12時

中央区ワーク・ライフ・バランス
推進企業との交流イベント!

6月25日(土) 12時30分～13時15分
各企業の出展ブースも設置されます



★クイズラリー クイズに答えて景品ゲット!

★親子体操 ～親子でたのしく!～

〈1階ホール〉24日(金) 11時～11時20分

★布ぞうりワークショップ ～自分だけの布ぞうり手作り体験～
〈4階 軽食コーナー〉24日(金) 14時～

◆4F カフェ・軽食コーナーでおくつろぎいただけます

☆友好都市東根市産

24日(金)

さくらんぼ頒布



☆被災地支援

南三陸わかめ頒布

24日(金)・25日(土)

参加団体の紹介や活動内容を体験できるブースの設置・

コーラス・ダンス・朗読をはじめとして、団体の特長を生かした発表も行います!



参加団体	
アマービレ	25日(土)のみ
エガリテ	
エコ・ビーイング	
オスビーの会	
音和会	24日(金)のみ
カトリアグループ	
かな書道を親しむ会	
カラーの会・アヌビス	
京橋防火女性の会	25日(土)のみ
銀座育成婦人会	
傾聴ボランティアグループ うさぎの会	
新婦人コーラス エーデルワイスの会	25日(土)のみ
新婦人女性の地位向上委員会	
中央区環境保全ネットワーク	

参加団体	
中央区社会福祉協議会	
中央区消費者友の会	
中央区女性海外研修者の会	
中央区女性センター	
中央区女性ネットワーク	
中央区つつじ会	
中央区文化財サポーター協会	

参加団体	
中央区保健係	
東京建築士会女性委員会	
東京都下水道局桜橋第二ポンプ所	
日本橋マロロジー事務所	
人形教室みやび会	
FLAP はばたき	
翠会	25日(土)のみ

参加団体	
レイ・ロケラニ	25日(土)のみ
朗読の会	25日(土)のみ
朗読ボランティアグループ わかはや会	24日(金)のみ

*詳しい内容は女性センター「ブーケ21」HPへ掲載いたします。是非ご覧ください。
*女性センター「ブーケ21」は6月23日(木)から25日(土)はブーケ祭り(準備含む)のため、情報資料コーナーや研修室等の利用は休止いたします。

女性センター「ブーケ21」

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号

電話番号 03-5543-0651 ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時

(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川車庫前⇨東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分 入船三丁目下車 徒歩3分 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

